

立木等を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	10～ 11	トドマツ（胸高直径22cm）を伐倒した後に、伐倒木の上部にあったダケカンバ（胸高直径12cm）が何らかの原因で倒れ、作業者の背中を強打した。	76	60201	4	10 ～ 29
2017	1	10～ 11	なだらかな斜面の苗圃において、樹木伐採作業中、倒した樹木の枝を整理するため移動中、目的の木ではない樹木（切口30cm、長さ約13m）が突然すべり落ちてきて、かわす事ができず、巻き込まれて転倒し右足を骨折した。	62	60201	4	1～ 9
2017	1	15～ 16	敷地内において、作業で高所作業車を操作してゴンドラ部に一人で乗り込み、チェーンソーを使用して樹木の伐採をしていた。木の中段位の所を伐採中、倒す方向を間違っ、作業員側に伐採木が倒れ直撃を受け、ゴンドラと手摺の間に挟まれた。	67	30199	4	1～ 9
2017	1	11～ 12	構内での桜の木の剪定時、脚立に乗り長さ3m、太さ15cmの枝をのこぎりで切り落としたところ、切枝が前頭部を直撃し擦過傷を負う。	72	80209	4	30 ～ 49
2017	1	11～ 12	配達を終え車両に戻る際、歩道から車道に出ようと植木の間を通過する時、木の根に引っ掛かり転倒した。	40	110101	1	300 ～ 499
2017	1	15～ 16	公道において、LED柱の新設工事中に電線の向きを変更するために隣接する木に登って変えようとしたため足を滑らせて下へ落ち体の	48	30301	1	—

			左側を強打した。				
2017	1	11～ 12	補助間伐現場で、道下の杉の木（胸高直径Φ200、高さ15m程）を道の方向へ伐倒した。その時、5m程離れている大きな杉の木に掛かってしまったため、斜め切りをして落とした。その時、元々大きな杉の木に掛かっていた枯木（胸高直径Φ150、高さ10m程）が倒れて来て、背中と頭部に当たり、左背部肋骨（上から5番目）を骨折した。なお、頭部は大丈夫であった。	47	60209	5	10 ～ 29
2017	1	10～ 11	客室清掃に入り清掃車両にリネンを持ちにいった時強風により、バンタリ梯子が飛ばされ拾いにいった時に木の枝が落下し、後頭部と左肩甲骨にあたって打撲をした。	63	150101	4	1～ 9
2017	1	10～ 11	間伐作業中、スギ（長さ20M、胸高直径30cm）を伐倒し山側に立って玉切りをしたが張力がかかっているのに気付かず、切った材が跳ねて左足の膝外側に当たり被災した。	53	60201	6	—
2017	1	9～ 10	松の木の剪定作業中に、手又は足を掛けていた枝が折れバランスを崩し、松上約3.5mより芝上に落下した。その際、安全ベルトを着用していたが、作業途中に外れたものと思われる。	69	140301	1	100 ～ 299
2017	1	14～ 15	被災者は、スギ・ヒノキ林での間伐作業中、間伐対象木及び伐倒作業に支障となる選木されたマツ枯木（胸高直径約40cm、樹高約22m）を伐採したところ、伐採木が樹上数か所で折れて落下し、被災者はそのうちの1つに激突されたと思われ、その後、死亡が確認された。	71	60209	4	10 ～ 29
2017	1	16～ 17	チェーンソーで切っていた木を収集しようと思い、のり面を降りていたら、そこに竹（親指くらいの大きさ）があり、その竹が足の裏に刺さった。	32	30199	8	1～ 9
2017	1	11～ 12	高木伐採作業中、別の者が樹上で枝払い作業中、落下させた枝が下にあるブロックにあたり、その枝が跳ねた。下で見張り中の作業員がその枝の跳ねを止めようと枝を踏みつけた時、その枝が作業員の左足にぶつかり負傷した。	39	60101	4	—

2017	1	15～ 16	林相整備作業中、広葉樹を伐採した際、上から枯れ木が落下してきたとき（直径約5cm）、前かがみの体勢で作業を行っていたため、後ろからヘルメットをすくわれる形となり、ヘルメットが枝にはじき飛ばされ外れ、頭部を負傷した。	47	60209	4	—
2017	1	11～ 12	職員が、利用者宅へ業務の為に訪問し、庭先を歩いているときに、縁側にいる利用者の姿に気を取られ、足元の植木につまずき転倒し、庭石に左足を強打して骨折した。	53	130201	2	500 ～ 999
2017	1	9～ 10	現場で暴風によりスギの木が根ごと倒れ、倒れた際先端部約7mが折れ下方にあった小屋に落ち、先端部が地面に付いた逆さまの状態の立木の撤去作業を行っていた。枝払いを行い、幹だけにしたのち、地面より1.5mあたりで1回目の玉切りをし、次に2階めの玉切りをした時、真下に落ちず宙に浮いた状態で自分の方へ向かってきたので、退避しようとしたが間に合わず、左胸に当たり肋骨を骨折した。	42	60201	6	50 ～ 99
2017	1	11～ 12	山林内において、シダが身長ほどおい茂っている境界での測量作業中に、見通しをよくするためシダを鉋で刈り払っている最中、シダの中に埋もれて隠れていた切り株に手を打ちつけてしまい、右手の小指付け根を打撲した。	69	60201	3	1～ 9
2017	1	16～ 17	公社造林間伐現場で蔓の絡んだスギを伐採したところ、隣のスギと絡んでおり、そのスギ（Φ15cm程度）を伐採したところ、裂けて自分の体の上に落ちてきた。	20	60209	4	50 ～ 99
2017	1	13～ 14	伐採工事現場にてシガラ組作業中、立ち枯れ木が背後より倒れ、右肩にあたりケガをした。	57	60209	5	—
2017	1	13～ 14	間伐作業中に玉掛け作業をしていたところ、重ねたヒノキ材が広がり始めて足を挟まれそうになり、右方向へ急いで逃げたが、ゆるやかな坂の中央部に出ていた古い切り株に右足がとられ、下に積み込まれたヒノキの枝の山に倒れ込むように当たってしまい、右脇腹	52	60209	2	10 ～ 29

			を強打した。				
2017	1	11~12	斜面約90度の場所で簡易架線集材を行っており、被災者は約2.5m程の段差の上方から、下にいる同僚へスイングヤーダのドラムから出たワイヤーを渡して、下で同僚が玉掛けをしていた。玉掛け後に集材を開始したが、段差の途中にある伐根に集材木（ヒノキ）が引っかかったので、被災者が荷掛けをやり直し、再び巻き株を交わすの確認した後、待避を始めた際に集材木に掛かっていた雑木が弾かれ、被災者の右側の腰に直撃し、その反動で斜面を転がり落ち被災した。	44	60201	6	—
2017	1	15~16	緩やかな傾斜地で径級22cmの立木（スギ・ヒノキ林）を伐採中、伐倒した立木が、前方にあった斜め木にあたり、滑ってきた伐採木の根元が右足太股に激突し負傷した。伐倒後の退避場所が近かったことに因る。	35	60201	6	10 ~ 29
2017	2	10~11	道路維持業務のため、法面で、伐採した根などの片付けをしていたところ、斜面で足を滑らせ木の切り株に左胸をぶつけ骨折した。	63	30199	1	—
2017	2	11~12	人工林現場において、アカエゾマツ37年生及びトドマツ41年生の伐倒作業中、胸高直径22cm、樹高14mのトドマツを基本動作とは違う伐倒方法にて地上高1.2mの位置で伐倒を試みたが倒れなかった為、根本を切り離し倒そうと「受け口」を切っている最中に、上部の切り離された元口が1.2mの高さより落下し、チェーンソーのハンドルを握ったままの被災者の左手親指付根に当たり被災したものである。	59	60201	5	10 ~ 29
2017	2	14~15	立木伐採事業において、胸高直径22cm、樹高20mのカラマツ伐倒作業中、追い口にくさびを入れ、マサカリで打ち込み中、その振動により、上部枯れ枝が被災者側に折れて落下し、被災者の背中に激突した。	70	60209	4	10 ~ 29
2017	2	15~16	2名伐倒作業、1名搬出路作設の作業状況において、事前の掛かり木長さ13m胸高直径12cmが外れて、灌木処理中の被災者の頭部を直撃し被災した。	68	60201	5	1~ 9

2017	2	16~17	森林斜面（10°位）にて、伐木（チェーンソーにて）作業時、立木上部にロープをかけて斜面上部側に引き倒す予定で、作業を急いでしまい、足の位置が伐木する立木の脇に出てしまい、倒れた後滑って足の甲の上に乗ってしまった。	64	30199	6	1~9
2017	2	13~14	山林でスギの立木を伐採して、枝払い、玉切り作業をしている時に、作業場所を斜面下り方向に移動していたところ、右足が枝材に躓き転倒し、その際に手で受け身を取ったが足先が枝材に引っ掛かったままの状態です。右膝をひねって負傷した。	52	60201	2	30~49
2017	2	13~14	公園内で枯損木を伐採する為に被災者（作業員）がチェーンソーを使用し、枯損木の根元を切断作業中、目視では確認出来ない空洞木であった為、切断箇所から2.2m上部まで幹が裂けてしまい、被災者（作業員）側にその幹が落下し、被災した。	68	30199	4	1~9
2017	2	11~12	ヒノキの伐捨間伐作業中、放置してあったかかり木（13~15cm直径）が倒れてきて、作業員の背中に当たり、背骨を圧迫骨折した。	69	60201	5	10~29
2017	2	9~10	誤って左親指に切枝が当たり骨折した。	48	60101	6	—
2017	2	16~17	太陽光発電の障害となる樹木の伐採中、傾斜地で伐木した木が沢方向に倒れた際、反対側の土手に当たり、気がバウンドして根元の部分が左腕と左太ももに当たり負傷した。	77	30199	4	1~9
2017	2	14~15	櫓の枝下し作業中、ハシゴを2箇所固定し切り下した枝とハシゴに足をかけて、被災者本人より上部にある長さ1m、太さ23cm、重さ約15kgの枝を吊し切りしていた際に、切断後、切り離れた枝が被災者本人の方向に振れたので、避けようとしてバランスを崩して墜落し下部にある支幹に接触した後地面に落ちた。	56	11709	1	10~29
2017	2	15~16	作業ヤードの立木（φ28cm、L=12.0m）の伐採作業をしていたところ、倒木した木の枝葉がクッションとなり、自倒木が下方側に跳ねた。その時に下方側にいた作業員の左肩甲骨付近に当たり被災し	64	30102	6	10~29

			た。				
2017	2	10~11	整備事業の現場で、間伐目的で余分な木を鋸で切断したところ、その木がすんなりと倒れなかったため、隣の松の木を背もたれにして、切った木を足で蹴った時、足が木の表面を滑ったため体のバランスを崩してしまい、自分が倒れた際に左足首付近を捻挫、靭帯損傷に至った。	41	60209	2	10 ~ 29
2017	2	10~11	利用者宅の玄関から出て3m程歩いた先で、高さ50cm程の木に足を引っ掛けてバランスを崩して転倒した。その際に右手薬指を地面に突いた。それに伴い指先が曲がり、出血した。	39	130201	2	10 ~ 29
2017	2	13~14	仮設道脇の支障木を伐採する作業中に、木の目標伐倒方向が想定外な方向に倒れたことにより、作業員が逃げ切れず木と地面の間に左腕と左手が挟まれて負傷した。	61	30108	6	—
2017	2	10~11	木に登って収穫をされていて、足が滑り木から落下し負傷した。	69	60101	1	—
2017	2	14~15	耕作放棄地再生現場で、チェーンソーにて松の立木を伐採作業中、切り倒し方向の谷側に切り口を入れ、倒そうとしている時、倒れずに樹皮が残り、伐採木が垂直に跳ね上がり、右足首に落下し、負傷した。	61	170209	4	—
2017	2	8~9	山林にて雑パルプ材を伐採中に木が裂け反動で木があたり被災した。	57	60209	6	10 ~ 29
2017	2	11~12	地拵作業中、チェーンソーで直径約20cmの雑木を伐ったところ、隣のスギに、かかり木になった。かかり木の処理をしようと様子を見ながら少しずつチェーンソーで雑木の幹の部分を伐り進めあと少しで伐り終わるといったところで杉に引っ掛かっていた雑木の枝が急に外れ、反動で雑木の幹が右足甲の上へ落下して右足小指を骨折した。	47	60201	4	30 ~ 49
			傾斜30°で桧（42年生）（胸高約22cm、樹高約20m）間伐作業中の負傷である。下原木（雑木）等の多い所で、間伐木に雑木がかか				1~

2017	2	11~12	り木となっている事を知らず（確認せず）間伐木にチェーンソーの刃を入れたところ、かかっていた雑木が（胸高10cm、長さ5m）右足に落下し負傷した。	45	60201	4	9
2017	2	14~15	当社ゴルフ場施設において、枯松の木を一定方向に倒れる様ロープを掛け木を倒すために、高さ約3m位の脚立を使ってロープを掛けようとしたが、脚立の高さが足りず高さ約3m50cm位の所にある枝に足をかけ、高さ約4m50cm位の所にある枝を手で掴んだところ、手足を掛けていた枝が両方同時に折れ、落ちて負傷した。	56	140301	1	—
2017	2	15~16	皆伐現場で2段集材方式で架線集材を行っていた。1段目の架線で吊り出した集材木を尾根の中継点で降ろしたところ、集材機に絡まったエンドレス束を外すため被災者が、丸太一本で作った盤台に乗って枝を切ったところ、外れたエンドレス束が被災者に当たり、約3m下へ転落した。後頭部に裂傷を受け、出血していたため、布で止血し簡易担架を作って県道まで運搬した。その後、ドクターヘリで病院へ搬送された。	56	60201	1	1~9
2017	2	14~15	ゆず畑にて剪定作業後の木を運ぶ最中に枝が跳ね、左眼を直撃した。	22	170209	4	50~99
2017	2	15~16	杉山の杉の伐採作業中、立木2本（杉40年生と50年生）を伐採し、伐採した杉（40年生）を背にしてもう1本の杉（50年生）を玉切りしていた時、背面にあった杉が滑り落ちてきて、その杉（40年生）の下敷きになり負傷した。	50	60201	7	1~9
2017	2	16~17	胸高直径20cm樹高約20mの桧を伐倒した際、倒れた木が人夫の近くにあった枯木にのり、その反動で右顔面に当たったと思われる。	60	60201	6	1~9
2017	2	14~15	公園緑地管理現場で高木の剪定作業中、木に登っていたところ足を滑らせた。その際に鋭利な枝の切り残しが左脚膝内側に刺さり負傷した。	60	140302	8	50~99
			林道支障木伐採作業中、チェーンソーで伐採後、後方に除けようとし				

2017	3	8~9	たが、残雪で足が滑ってしまい、除けきれず伐採木が右下腿側面に あたって負傷した。	42	60209	6	1~ 9
2017	3	13~14	工事現場で伐採作業中、切り倒した木がバックホウに当たり、その 反動で根の部分が持ち上がりチェーンソーを払いのけ、伐採木が足 に接触した。	76	30209	6	1~ 9
2017	3	14~15	山の斜面でチェーンソーによる伐倒作業にて、退避中、同僚が伐倒 した松の枝が頭に当たり、背骨を骨折した。その際にヘルメットは 着用していたが、下半身に麻痺が残るかもしれないとのことであ る。	53	60201	6	10 ~ 29
2017	3	15~16	木の除却作業中、木の上方がからまっていた状態だったため、伐倒 した際に木の根元部が横に動いてきて被災者に激突した。	70	60201	6	1~ 9
2017	3	9~10	訪問入浴介護サービスにて、お客様宅に向かっている途中、狭い道 に進入したため入浴車のバック誘導を行っていた際、車の左前方に 木の枝がひっかかる可能性があったため手で枝をよけた。車が後退 を終えたため枝から手を離れた際、枝が手にあたり、右掌・甲・指 全体に腫れ、甲に切り傷を負った。	53	130201	4	10 ~ 29
2017	3	9~10	キャンパス内で高木剪定作業時、高所作業車に乗った人が高枝を切 りおとし、声をかけ合い作業をしていたところ、バスケットの影で 切った枝を見失い、上から落ちてきた枝が頭部うしろ部分に当た り、ヘルメットをかぶっていたので外傷はないが、吐き気がして首 から肩にかけてむち打ち状態になった。	30	30199	4	10 ~ 29
2017	3	11~12	樹木伐採工事にてチェーンソーを使用して伐採作業中、伐倒方向の 見当を誤り倒れてきた木に激突し、頸椎捻挫、左身体部分を打撲し た。	21	30199	6	1~ 9
2017	3	14~15	解体現場庭にて庭木を伐採中、切った樹木が自分の方へ倒れてきて 右肩にぶつかり、右鎖骨・右肋骨（3本）骨折、右肩甲骨ヒビ、頸 椎捻挫の怪我を負った。	36	30202	5	1~ 9

2017	3	11~12	脚立にのぼり植栽の剪定作業を行っていたところ、3分の2程度切り込んだところで枝が折れ、自分の方へ倒れてきた。その際、折れた枝と脚立の足元に左足が挟まれ骨折した。	67	11301	4	300 ~ 499
2017	3	8~9	高さ1.5m程度の斜面上に生えている立木（直径約17cm）を株の横に立って伐採していた。口が開いてきたので斜面下方に退避したが、退避した方向に木が倒れてきたため接触し転倒した。	25	30108	6	30 ~ 49
2017	3	11~12	伐採木全長の半分以下の箇所に簡易クレーンで吊り上げ、受け口を入れずに伐採を行った。根元のツルが弱かったため根が跳ね上がり、1.5mぐらい離れた場所に座っていた被災者の胸部にあたった。	69	60209	6	1~ 9
2017	3	16~17	山林の中で木材を撤去する作業中に歩いていたとき、地面に落ちていた木の枝が靴を突き抜けて左足裏に刺さった。	32	60201	9	1~ 9
2017	3	11~12	約6m程度のサクラ枯木を切り倒す作業をしている際に、木の頂部から地上へロープを張って倒れる木を支えていたが、そのロープを手に回し握っていたため、木が倒れるのに合わせて引っ張られ、転倒し負傷した。	73	30309	2	1~ 9
2017	3	13~14	山林内にて間伐した伐倒木の小切作業を行っていたところ、小切りした木が滑ってきて左足に当たり負傷した。	58	60201	6	1~ 9
2017	3	16~17	地内山林で同僚3名と共に切株間伐を行っていた際、谷側のやや急な斜面にあった杉の木を谷に平行に倒そうとチェーンソーで伐ったが、倒れなかったため、右手で木を押したところ、下部が先に飛んで、先端部分が右肩に当たり、鎖骨骨折を負った。	69	60201	6	50 ~ 99
2017	3	11~12	伐採した木材を地引きによって集材していた際、木材にワイヤーを掛け退避した後、オペレーターに巻き上げの合図をトランシーバーで行った。3本のうち1本の材の穂先が木の枝等（ゴソ）に引っ掛かり、木材が回転し当たった為、太ももと手首を骨折した。退避場の距離が短かく、木材にワイヤをかける場所が悪かった。	50	60201	6	1~ 9
			高所作業車に乗り枝下ろし作業中、下にフェンスがあるので切った				

2017	3	14~15	枝が当たらないよう、隣の松の木の枝にロープをかけてハゼの木の枝を切ったとき、上の松の木が折れて、作業中のゴンドラに落ちてきた。	69	30309	4	1~9
2017	4	14~15	松の木を伐木作業中、上部を切り摘めた松の木にチェーンソーで切り込みを入れて、根元から倒す準備作業を終えて、安全な場所に退避している途中で木が倒れてきて、退避途中の作業員の頭に木の幹がぶつかった。	67	30199	5	10~29
2017	4	13~14	伐採現場にて、伐採した支障木（小径木）を収集・片付けをしていたところ、後方の立木に右腕を強打した。	45	60209	3	1~9
2017	4	13~14	土場でワイヤーで束ねられた丸太（カラマツ）を、フォークリフトで荷台からおろし、ワイヤーを外すため丸太の上に上がり、ワイヤーを外しておりようとした時、上部にあった丸太（径約24cm、長さ約3m）が1本ズリ落ちてきた時、左足甲が挟まれて受傷した。	65	40301	7	30~49
2017	4	15~16	立木の伐採作業現場で、ならの木をチェーンソーで伐採してたところ、20m離れた被災者にその伐採木が傾き、枝が被災者の作業していた木に絡んで滑り落ち、被災者の左肩に当たり、頸椎を骨折した。	59	60201	5	1~9
2017	4	9~10	山林（杉約50年生）現場に於いて、杉皆伐後、残った雑木を伐採する作業中、伐根径20cm位の桜を伐倒する時に上部のツルを見落とした為、追い口を入れた時に元が外れてしまい、自分の方に伐倒木とチェーンソーがきてしまい、刃が左足スネに触れ切創負傷した。 (チャップス装着中)	30	60201	8	30~49
2017	4	14~15	山林で造林中、チェーンソーで玉切りしようとした時、上から枯枝（直径5cm×長さ1m）が落ちてきて、左腕に当たり負傷した。	41	60201	4	1~9
2017	4	14~15	森林調査のため林班へ行き、小班（スギ・カラマツ人工林）で同僚2名と調査区域をペンキ塗布による表示作業中、GPS機器により区域確認をしながら、右手で灌木につかまりながら斜面（傾斜約30度）を横切っているとき、倒伏していた灌木が突然跳ね上がり、被	72	170209	4	30~49

			災者の右目に当たった。				
2017	4	10～ 11	庭の剪定作業において高木に三脚を立て登って剪定作業を行っている時、作業を中断し高木から降りる際に落下し、左脇腹を強打した。	20	60209	1	1～ 9
2017	4	9～ 10	高所の木の上で枝落としの作業中、チェーンソーで幹を切っている最中に自分自身の安全帯（命綱）が切っていた幹に引っぱられ、登っていた幹と切った幹に腹部が挟まれ、命綱のベルトが腰のあたりを圧迫した。	41	60101	7	1～ 9
2017	4	12～ 13	樹上でカラスの巣の撤去作業をしている時に、樹上を移動する為に支障があった為、使用していた安全帯を一時外した際に手を滑らせ、樹上から転落し、腰と肋骨の骨折、肺に穴が開き、肋骨と肺の間に空気が入る怪我を負った。	37	150109	1	50 ～ 99
2017	4	11～ 12	街路植え込み剪定作業を行おうとした際、落ち葉で足を滑らせて倒れ込んだ。その時植え込みの切り株に左足のすねが刺さり出血し、深さ約3cm・表面5cm程負傷した。	46	60101	8	1～ 9
2017	4	11～ 12	修理する機械の仮置用角材を確保するため雑木林で木を切り出そうとしていた作業中、倒した木が地面ではねかえり、左胸に当たり負傷した。	79	11702	6	1～ 9
2017	4	11～ 12	同僚2名、クレーン車（別社）を使用し、カラマツ直径40cm樹高15mの吊し伐りを行っていた。作業籠に乗り中段の伐りはなしを終え、地上におりた後、籠に忘れたチェーンソーを取りにもどったところ、クレーンで移動を始めた、伐採木の枝（枝径5cm長さ2m）が折れ落下し左手に当たり被災した。	62	60209	4	30 ～ 49
2017	4	14～ 15	県道拡幅工事において斜面にある木を倒す作業を行っている時に、倒した木の一部がはねて見張りをしている被災者に当たり負傷した。	48	30106	4	1～ 9
		14～	加工場で本人の姿が急に見えなくなり捜したところ、1.5m位の高さ				30

2017	4	15	の材料間にうずくまっており、返事がないため救急搬送した（意識混濁状態）。	21	120109	4	～ 49
2017	4	14～ 15	工場構内緑地で樹に登って剪定作業中、次の枝へ移動しようとした時、足を掛けた枝が折れて約3m位の所から落下した。	74	60101	1	1～ 9
2017	4	13～ 14	間伐作業中、立木を切断したところ、上部の枝が隣接の立木の枝と絡まり、一瞬宙づりになった後被災者の側に落ちてきて、左足甲を骨折した。	44	60209	4	1～ 9
2017	4	10～ 11	伐採搬出現場において収材作業中、スギ（樹高18m直径約30cm）を伐倒中に掛かり木になったのでワイヤーロープを使って木回しを行っていたとき、近くで作業班長が危険作業にならないか確認していたが、作業手順や立ち位置など問題なかった様子を見ていた。掛かり木が倒れだした際、倒れる様子をその場で退避するのが遅れ、跳ねた掛かり木が左足へ当たった。被災者がその場でうずくまったので声をかけたところ、骨折しているとのことだった。	50	60201	6	30 ～ 49
2017	4	14～ 15	処分場ヤード内に着いて、ダンプの生木を降ろす作業中、ダンプを上げたところ後ろドアが開かなかった為、降車して後ろドアのキャッチをはずしたとき、積載していた生木が横から落ちて左肩に直撃した。	61	30209	4	1～ 9
2017	4	11～ 12	山林現場で間伐作業を行っていたとき、切捨下部より頂上へと登りながら作業を進め、中間付近で作業していたところ、胸高10cm程度のスギを伐倒する際に伐倒木の下部に足場を位置取り伐倒してしまった為、伐倒木の根元が足の方へと落ちてきて右足首に当たった。	75	10409	6	1～ 9
2017	4	14～ 15	広場の端にて反対側は3.6mの土手になっており、フェンスが張られている真下はアスファルト道であった。高圧（低圧）電線にかかっているガジュマルの木の伐採作業中、バケット作業者が使いづらい場所で木に登って手のこを使用し伐採した。大きなガジュマルの木が4本ほど並んでおり、木の枝が上の方で絡んで交差しており、そ	36	30209	1	1～ 9

			の間を高圧（低圧）電線がかかっている。伐採した後、降りる際に持った木が折れて落下し、頸椎不全損傷および第4～6胸椎骨折を負った。				
2017	5	14～ 15	山林で伐木作業中、杉立木を伐倒した際に頭上からカラ松の枝が落下し、作業員の頭部をヘルメットの上から直撃した。	69	60201	4	1～ 9
2017	5	10～ 11	クリ生立木（胸高直径22cm、樹高18m）を集材路側へ伐倒するため、クサビで起こし倒したところ、伐倒方向がずれてクリ双生木にこすれながらアカマツ生立木（胸高直径20cm、樹高18m）に枝がかかり、かかり木状態となった。被災者は改めてかかり木処理を行うため、伐根のツルを切断したところ突然クリかかり木が回転し倒れ、被災者の左足に当たった。	34	60201	5	10 ～ 29
2017	5	9～ 10	コンクリート水路沿いで立木の伐採作業中、切断中の立木が作業員側に倒れ、立木と一緒に0.7m下の水路底に転落し、腰を圧迫骨折した。	62	60201	1	10 ～ 29
2017	5	14～ 15	被災者は、山林において同社員3人で伐採中、被災者が枝払いの補助作業をしていたところ、他の人が切った木（直径10cm・長さ12m）が思わぬ方向に倒れ、左横から倒れた木が被災者の頭から胸にのしかかり、下敷きになってしまった。	57	60201	4	10 ～ 29
2017	5	13～ 14	剪定作業現場にて、歩行者及び車両の誘導業務中、剪定中の高木の枝が落下し足に当たり被災した。尚、立哨位置は剪定作業のバリケード内である。	22	170201	4	100 ～ 299
2017	5	12～ 13	小学校敷地内にて、カラスの巣を撤去するため、2連ハシゴで木に登り安全帯を固定しようとした際に、掴んでいた枝が折れて落下した。	26	170209	1	30 ～ 49
2017	5	14～ 15	山林で集材作業を行っていたところ集材木が滑落し、切株に当たって方向が変わり被災者の右太ももに当たり転倒し、伐倒木の上に着た時に座骨を骨折した。	22	60201	6	50 ～ 99

2017	5	10～ 11	チェーンソー伐倒作業中、根返りの隣接木が倒れてきて、作業者本人の肩から背中にかけて当たる。本人は周囲を確認していたが、大丈夫だろうと安易に思い作業する。	58	60201	5	1～ 9
2017	5	9～ 10	梅畑で木の上に乗って梅採り作業中に、足元が滑って後ろ向きに落ち、右手首付近を負傷した。	67	60101	1	1～ 9
2017	5	17～ 18	荒れ畑で、周囲の竹や木を伐採作業中に、倒して小切りにした直径20cm・長さ1.5m程の丸太を乗り越えようとして、足を乗せたら丸太が転がり、転んだ際に左手をつき、手首を骨折した。	45	30199	2	1～ 9
2017	5	11～ 12	被災者は、0.25グラップル付重機を使用して集材作業を行っていた。同僚がスギ胸高直径約50cm、樹高約30mに受け口、追い口を入れて左斜め上方向に倒そうとしたが、想定外の右斜め上方向に倒れてしまった。倒れた際に木の先端部分（直径約10cm）が重機キャビンに入り込み左足甲に当たった。（ヘルメット、安全靴着用）重機は停止状態で次の合図確認のためキャビンのドアは開けた状態であった。	68	60201	6	50 ～ 99
2017	5	11～ 12	家裏の木を伐採中、チェーンソーで枝を切った時につるが木に掛かっており、枝が頭に落ちて来た。	32	60209	4	1～ 9
2017	5	10～ 11	森林において、伐採して地面に倒れている木の上を歩行中に足を滑らせ、木と木の間で右足を滑り込ませてしまった。その反動で体が右方向に傾き、右膝を捻じった。	47	60201	2	1～ 9
2017	5	11～ 12	作業道開設現場において、先行伐採作業中、辺り一面かずら絡みになっていたので周りの灌木を切り倒しながら作業していた。何本か倒したが、かずら絡みで倒れず直立した状態の灌木（直径約15cm、樹高2m）が残ったが、かずら絡みで倒れず、手で押しても倒れなかったため、支障木（ヒノキ）の伐採を開始した。3本目を切った際に直立していた灌木が何らかの原因で跳ね、根本の切り口部分が顔面へ直撃して出血し、骨折および裂傷を負った。	57	60209	6	30 ～ 49
			被災者は間伐の作業に従事していて、雑木の除伐中に切った雑木が				30

2017	5	11～ 12	被災者の方に跳ね上がって来て、フェイスガードを押し上げ、雑木が右目に当たった。	59	60209	6	～ 49
2017	6	7～8	樹木伐採現場で、事故当日は風が吹いており、先日までとは逆の方向に伐倒作業しており、何らかの不具合が生じて、伐倒木の下敷きになったと思われる。	69	60201	6	1～ 9
2017	6	14～ 15	りんごの枝を拾い集めていたところ、落ちていた枝に靴が引っ掛かり、転んでしまった。その際に左肘を地面に打ちつけて負傷した。	77	60101	2	1～ 9
2017	6	13～ 14	被災労働者が作業中に足元の枝に躓き、ゆるい斜面を1m滑り、着地した時に足をひねり、尻もちをついた。	30	170209	2	50 ～ 99
2017	6	14～ 15	別荘解体現場で、周りにある立木を重機で撤去中、途中からチェーンソーに切り替えて切断していたところ、張力のかかった幹が跳ねて、左膝内側部分に当たり受傷した。	63	30202	6	1～ 9
2017	6	11～ 12	林内の作業道が接している場所で間伐作業（伐採作業）中、作業道方向に伐採した木が隣接の立木の枝に当たり、伐倒方向がずれて、既に伐採木を集積している所に倒れ、伐採した木が弓なりになりバウンドし、また、つるが切れて待避場所に伐採木が飛んで来て、左腕と脇に当たり、肋軟骨を骨折した。	35	60201	6	10 ～ 29
2017	6	11～ 12	雑木林において、直径15cm程の雑木の伐採作業していたところ、その雑木が地面から2m位の所から割れ、その反動で小口が右太股に当たり打撲した。	44	60201	6	1～ 9
2017	6	11～ 12	被災者は、道路脇歩道にて植樹柵の街路樹の剪定作業の途中であった。被災者が木に登り作業をしていた際に、安全帯を掛け替えようとしたところ、バランスを崩してしまい落下し受傷した。	70	30199	1	10 ～ 29
2017	6	13～ 14	造園工事で、太い木の枝を鋸で切っている際、枝を切り終えた時に勢い余って、枝が左手にぶつかってしまった為、左手示指を負傷した。（左手示指こぶし部分創傷、左示指伸筋腱損傷）	39	30309	4	1～ 9

2017	6	14~ 15	個人邸庭園の樹木維持管理作業において、高さ7m程度の所で樹木を剪定していた際に落下し、落下中に建物の屋根にぶつかり地面に落ち、右脇腹と左手薬指を負傷した。	36	60101	1	1~ 9
2017	6	11~ 12	30cm程の杉の木の間伐作業中、周りがある木が太い木ばかりで、上の方向にしか木を倒せなかったので上方に倒したところ、伐倒木が斜面を滑り落ち、かつ回転し、退避場所にいた被害者の右足首に直撃した。	38	60201	6	50 ~ 99
2017	6	14~ 15	杉の間伐木（直径約40cm）の伐採、玉切りを行ったところ、山側に玉切木が跳ね、避けたが転倒し、前に玉切りを行っていた丸太が左膝に当たり、負傷した。	56	60209	3	1~ 9
2017	6	13~ 14	山中において伐倒作業中、被災者が伐倒した際に、近接していた木が絡まり折れて落下し、被災者の右大腿部に当たった。伐倒前による確認は実施したものの、枝が絡んでいる木に気付かなかった。病院で診察した結果、右大腿骨の転子部骨折と判明した。	60	30209	4	10 ~ 29
2017	6	10~ 11	山林で木材の伐採作業中、自分が伐採した木材が、逃げていた場所に滑り落ちて来て、体に当たり負傷した。	32	60201	6	1~ 9
2017	6	10~ 11	山林にてチェーンソーによるヒノキ（50年生）の伐倒作業中、ヒノキの立木に伐倒したヒノキ（切口径30cm）が掛かった状態になった。掛かり木の処理のため次の行動に移る際に、該当木から目を離した。その際、掛かり木の元が動き、労働者の左膝の裏に当たり被災した。	47	60201	5	10 ~ 29
2017	6	14~ 15	集材作業中に、伐倒木が倒れた後、2列目上方で掛かっていたヒノキ（胸高直径約20cm、樹高約27m）が何らかの拍子で倒れてきて、掛かり木の先端が、被災者の背中を押し潰すように直撃した。	40	60201	6	30 ~ 49
2017	6	11~ 12	皆伐現場の伐採中、枯木の前方の木を倒したら枯木の先端部分が折れ、作業員の左の背中に当たり負傷した。枯木の折れた先端部分の大きさは、直径8cm、長さ1.8mであった。原因は、枯木に伐採した立木の枝が絡んでいて、倒れた時に折れたためである。（絡んでい	55	60209	4	10 ~ 29

			るのは見えなかった。) 尚、肋骨は折れていない。				
2017	6	13~ 14	当日は、整備員3名より、民有材において切捨間伐を行っていた。被災者は、胸高直径9cm、樹高8mのヒノキの伐倒木の枝払いを行っていた。チェーンソーにより枝を切っていたが、先に切った枝などにより足元が見えにくい状況で次の枝を切った時、枝の真下にあった右足に被災した。	39	60201	5	100 ~ 299
2017	7	16~17	庭園内（個人邸）にて剪定作業中に、剪定枝の片付けをしていたところ、繁茂した草の中にあった切り株に気付かずに、右足つま先を強打した。翌日になっても痛みが引かず、右足親指と人差し指の間にひびが入っていた。	69	30309	3	30 ~ 49
2017	7	15~16	トドマツ列状間伐箇所、根むくれになっていた台風被害木（トドマツ・長19.5m径24cm）を伐倒したが、かかり木となった。かかられているトドマツの真下でかかられているトドマツ（長19m径22cm）を伐倒したところ、かかり木が落下し枝が頸部に当たった。原因として、かかり木の処理方法として危険な、かかっている木を伐倒したこと。かかり木の処理を独断で行ったこと。	73	60201	4	10 ~ 29
2017	7	16~17	施設内の玄関で、サービス利用者様の帰り支度をしていた。利用者様7人の私物手提げ鞆を玄関の下駄箱上に置きに行く際、荷物で足元が見えない状態で段差を降りようとしたため、段差手前で左足首を内側へ捻り、荷物をもったまま段差下へ右膝をつくように転んでしまった。	50	60201	6	1~ 9
2017	7	9~10	製材工場のローラーテーブル式帯のこ盤で木材を製品に加工する作業中、仕切り板に端材が引っかかり、その端材を取ろうとして左手人差し指が刃に触れ負傷した。	54	60201	6	10 ~ 29
2017	7	11~12	民有林皆伐現場で伐倒した木の集材作業で、丸太にワイヤーを掛け、バックホーについているウィンチで引っ張る際、ワイヤを丸太に掛けて待避しウィンチ巻き始めたところ、丸太が引っ掛かり待避	62	60201	6	30 ~ 49

			していた方へ回転してきて、背中（右中段）に当たり受災した。				
2017	7	13~14	作業道の下側に地拵の時に集積して置いた残木のある場所で、草木があったので、刈払機が届かなく、周りから刈ることができなかったため集積木の上に上がって下刈作業をしていたところ、足元の木が折れ左足が落ちて、その状態で右回りに後転して負傷した。	26	60201	1	10 ~ 29
2017	7	9~10	植木の剪定現場で脚立を使用し、剪定作業を行っていた。その際桜の枝をつかんだ時、不意に枝が折れ、バランスを崩し両足から落ちた。	37	60101	1	1~ 9
2017	7	10~11	解体整地工事へ向かう準備のため、資材と地図を持ち、2Fの事務室から階段を下りる途中、足を踏みはずし、背中と脇腹を強打。	27	30309	3	10 ~ 29
2017	7	11~12	子ども達と遊んでいる最中に、木の根っこに足をつまずき体ごと倒れて右膝を負傷。	27	120109	2	1~ 9
2017	7	11~12	樹高4m程のカシの木を樹上にて枝剪定作業中、樹上に移動するため安全帯のフックを一時外して上部の枝を掴んだところ、掴んだ枝が折れて樹上2m弱より腰から芝地に落下した。	38	60101	1	30 ~ 49
2017	7	14~15	傾斜約20度の山林内で、胸高直径約18cmの木を伐倒する際、受け口、追い口をしても倒れなかったため、手で押そうとしたら、左の足の甲に木が落ちてきた。その際、左の足の甲を打撲した。	48	60201	4	30 ~ 49
2017	7	9~10	山林で間伐作業中切った木が別の木にかづらでつながってしまっていて離れなかったため、木を手で引っ張り落とそうとしたところ、思いのほか勢いよく足下まで落ちてきて、避けようとしたが間にあわず右足先にあたってしまい薬指を骨折した。	59	60201	4	1~ 9
2017	7	10~11	建設現場において、セラー室内タンク並びに配管撤去工事を2人で作業中、鉄骨H鋼のボルトを外し玉掛作業終了後、1人が工場床面に立ちクレーンで鉄骨を吊り上げたところ、鉄骨が固着していたため、クレーンインキングで鉄骨を揺すりながら取り外そうとした	49	60201	4	1~ 9

			際、もう1人はセラー室タンク上部吊り荷の近くにいたため、鉄骨H鋼と取り付け鉄板の間で左手示指指先（手袋着用）を挟み、負傷した。					
2017	7	13~14	樹木伐採作業をしていた時、伐採後の横たわった樹木の枝処理中、支点となっていた枝を切った際に、樹木本体のバランスが崩れ、他の枝が身体に接触し、右腕と右足を負傷した。	56	170209	6	10 ~ 29	
2017	7	16~17	高所作業車による剪定作業中、切断した枝葉が、下部の落下防止柵に落下し、その跳ね返りで、5m離れた場所で清掃をしていた作業員の右ひじ上に接触した。	63	30106	4	1~ 9	
2017	7	10~11	3階から2階へセットした点滴を運んでいた際、階段途中で前のめり状態になって転落。両手が点滴を入れたダンボール箱でふさがっていたため踊り場へ頭からつまむような形で転落し、着地した時左足をひねって受傷した。	58	60101	1	10 ~ 29	
2017	7	10~11	山林で玉掛け作業中、玉掛けを行い移動中に、近くの伐倒していた木材が動き、その枝が頭部付近に当たって転倒し、首と腹を負傷する。	72	60201	6	1~ 9	
2017	7	9~10	庭で剪定作業中、高さ5m位ある木（デツリンジン）の3m辺りのところに登っていた。直径10cm程の枝に乗ったところ、その枝が折れ、3m下へ落下した。（枝は葉が茂っていたため、外見からは気付かなかったが、半分程枯れていた。）下へ落ちた際、庭石で胸部を打ち肋骨を折り、肺挫傷を負った。	38	30199	1	1~ 9	
2017	7	10~11	林道新設現場で雑木伐倒後の玉切り中に、邪魔になった枝が自分の方にころがって来た。その時に左足下部を骨折した。	49	60201	6	1~ 9	
2017	7	11~12	間伐現場において伐採作業中、伐倒木が被災者の左足すねに接触し、骨折した。当時現場は4人（内1人重機オペレーター）で作業しており、傾斜角31度、伐倒木は長さ約5m（台風による折損木）、胸高直径38cmであった。被災者は、伐倒木が下に滑り落ちないようにグラップルのワイヤーを掛け（ワイヤーの緊張無し）伐倒	60	60201	6	1~	

			を開始した。受け口を伐り終え、追口を伐り込む際に右側を伐り過ぎたため伐倒木が横に倒れだし、被災者は慌てて反対方向に退避する際、左足を滑らせ、伐倒木がすねにのしかかり強打した。被災者はすぐさま呼子で助けを求め、作業員3人で救出した。					9
2017	7	16~17	伐採作業中に、伐採木（長さ22m、直径24cm）と10m程離れた場所に枯れ木（長さ20m、直径20cm）の立木があった。伐採木を伐倒したところ、伐採木と枯れ木がカズラで絡んでおり、10m程後ろから一緒に災害者の背中に倒れてきたため、負傷した。	50	60209	5		1~ 9
2017	7	10~11	当該工事現場に於いて、被災者が法面より高さ8m程の位置で、樹高19m樹径40cm程度の木をチェーンソーで切り倒したところ、後方の木とつるがからまっていた事により、後方の木と同時に引き倒され、後方の木に頸部及び胸部に直撃を受け被災した。	68	30108	6		1~ 9
2017	7	15~16	林地で地ごしらえの作業を行っていたが立木が残っていたため作業員が伐採しようとしたがチェーンソーが挟まり取れなくなったので、チェーンソーで伐採したが風のため受口方向に倒れず45度位方向がずれて被災者の見ている方向に倒れ枝が背中に接触する。（立木胸高直径24cm長さ15m）	69	60201	5		1~ 9
2017	7	11~12	地内において伐採工（チェーンソー）1人、50m程離れた工場でパワーショベル運転手1人、玉切り作業員1人が作業していた。伐採業者は直径50cm、長さ40mの杉の木を伐採、伐倒したところ、倒した杉の木の枝（3cm）が玉切り作業者に当たってしまった。杉の木を倒す際、笛を鳴らし、玉切り作業者にも笛の音が聞こえていて、避けたが枝の先端が左上腕に接触し負傷。	63	60201	5		10 ~ 29
		15~	先達発電所施設上流にある取水工排砂門に流木が掛かっているため除去する工事で、準備作業のため排砂門上屋（幅3.0m長7.0m高さ4.80m）でバックホーの作業状況を監視しているとき、被災者が流木の絡み状態が気になり単独で上屋ステップ鉄筋φ19mm幅0.3mの					10

2017	7	16	14段を安全帯2丁掛けを使用しながら降りたところ、堰堤天端部60cm位のところで流木の枝があり、これに右足、左足で上がり体勢を替えるため左足を上げたところで右足が流木の上で滑り腰から落ちて受傷した。2丁掛安全帯の片方はステップ（下から3段目）にフックに掛けていた状態であった。	41	30199	1	～ 29
2017	7	16～ 17	モチの木の剪定中、脚立で作業後、安全ベルトを外し、枝に移動したところ枝が折れ庭石の上に落下し、右足首を骨折した。（約4m）	44	30199	1	1～ 9
2017	7	9～ 10	個人邸にてシイノキ伐採作業中、トラック荷台に切った枝を下ろす途中、引網を送り込んだ際に下枝に干渉し、そこに引っ掛かっていた枝が落下し、背中左側に当たり負傷した。	43	60101	4	1～ 9
2017	7	11～ 12	山林内で、伐採事業を実施中、直径40cm程の桧をチェーンソーで切り込み、クサビを入れて打ち込み倒したところ、途中で木の先端が隣の木へ当たったため、倒れながら木が被災者のいる方向へ滑って来て、根元でチェーンソーを外そうと屈んでいた被災者の左足下部へ当たり、そのまま2m程押し流された。	75	60209	4	10 ～ 29
2017	7	14～ 15	工場倉庫の屋外製品置場の緑地帯にて、立木（檜）を伐採するため、まず伸びた枝を落とし、その後に立木を根元から伐採する手順であった。しかし、枝（長さ4.4m、径50cm）を切り落とす際、手鋸で切った枝が近くのリングパレットの上に落ちた。伐採者は被災者に声かけを行ってから枝を落としたが、真下で梯子を支えていた被災者の顔に枝が直撃し負傷した。	53	10401	4	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	土手の竹を伐採作業中に、切った竹が倒れかかって来たので、右手で竹を持ち、左手でチェーンソーを持っていたときに体のバランスを崩し、左手に持っていたチェーンソーが左足に当たって負傷した。	68	30199	1	1～ 9
2017	7	13～	平らな山林で、周囲は杉（立木）に囲まれており、伐採した杉が5～6本乱雑に倒れた状態であり、チェーンソーを使用して伐採作業をしていた。このとき、切り倒した杉が立木に当たった反動で被災	39	30309	6	1～

		14	者の方へ倒れ、先に伐採していた杉との間に足を挟まれ、付いていた枝が右脹脛に刺さり、穴があいた。					9
2017	9	6~7	現場山林で運搬丸太積込作業中にワイヤロープをかける際に小雨が降っており、又、丸太の皮が剥がれやすい状況でもあり、足場としていた丸太の上から滑り落ちたもの。	50	40301	1		10 ~ 29
2017	9	10~ 11	当日、被災者は同僚2名とともに始業時のミーティング後、調査箇所 の区域標示に周側野帳の記録者として従事していた。区域確認のために傾斜約10度の緩斜面を下方に向かって調査していた時、歩行に支障となるヒバ幼樹（胸高径6cm位）を踏みつけて乗り越えようとした際に、枝に足を取られて前のめりに転倒し地面に右手の手のひらをついて被災した。	67	170209	2		50 ~ 99
2017	9	9~ 10	傾斜約30度の林地で、ナラ（胸高直径24cm、樹高12m）を斜面下方向に伐倒しようとしたところ、受け口を切ることなく、追い口切りを行ったことから、伐倒木が裂けあがって被災者の顔面と前頭部を直撃し、その反動で跳ね飛ばされ、斜面を11m転げ落ちて森林作業道に落下し、その際、左前腕部も強打して被災した。	38	60209	6		30 ~ 49
2017	9	16~ 17	地区の山の中で間伐作業に従事し、木（？）を切ったら他の木（？）に引っかかった。（？）の木を地面に落とす作業を後回しにする判断をした。別の木（？）を切ったら、その木（？）も?の木に引っかかった。?の木を道具を使用して回転させ、地面に落とそうとしたら、動かないと思っていた?の木が動き出して?の木に沿って本人に向かってきて接触したものである。	35	60209	5		1~ 9
2017	9	9~ 10	個人邸樹木維持管理において、シイの木の剪定作業中、安全帯を括りつけた枝が折れ一緒に約3m程の高さから落下、頭部と胸部を負傷する。	40	60101	1		1~ 9
2017	9	10~ 11	いちじくの木に登って収穫作業中、約2mの高さから誤って足を滑らせて地面に転落した。その際、背中から落ち、後頭部と頸部、腰	70	60101	1		10 ~

			部を強打した。				29
2017	9	8～9	山林でスギの伐倒作業の際、伐倒方向とは反対側に隣接した広葉樹の枝が引っ張られて折れ落下し、左上半身に当たり負傷した。	56	60201	4	50 ～ 99
2017	9	14～ 15	杉の木の集材伐倒中、杉の木にツルが絡んでいたため、ワイヤーで倒す準備をしていたところ、追い風のため、杉の木が予想外の方向に倒れてきた。慌てて退避しようとしたところ、斜面に着地してしまったため、右膝内側の靭帯を損傷したものである。	35	60201	5	10 ～ 29
2017	9	14～ 15	作業中に被災者が木に登って上部を剪定しようと、高さ約2m50cmの枝へ左手を掛け、左足を掛けたところ、枝が折れ被災者が落下、下にあった植木に右胸を打ち付け負傷したものである。	71	60101	1	1～ 9
2017	9	13～ 14	当社置き場内にあるマキの木上部を枝打ちしようと約2mの脚立より高さ約3mの枝に右足を掛け、体重をかけたところ、枝が折れ被災者がそのまま落下し下にあった直径約80cmの丸い石に右腰部分を打ち骨折した。安全帯は、他の枝に掛けてあったが、いっしょに折れたものである。	55	60101	1	1～ 9
2017	9	14～ 15	498.2KW太陽光発電設備のメンテナンス業務として、樹木の枝打ち作業でハシゴ上部にて枝打ち作業中に、移動しようと手で枝を持って移動しようとした所、枝が折れてバランスを崩して転落した。	48	30203	1	1～ 9
2017	9	16～ 17	平地で間伐作業中、直径20cmの木を伐倒した際、はねた木が、右足にあたり負傷する。	61	60209	6	1～ 9
2017	9	11～ 12	山林での間伐作業中に、切り倒した木が別の木に引っ掛かるかかり木の状態になっていた、かかり木が引っ掛かった木を伐倒したところ、かかり木が右肩にぶつかった。	68	60209	6	10 ～ 29
2017	9	15～ 16	斜面に立つ高さ15m位の杉をクレーンを使って伐採する為、杉の枝を切断していた、その途中で身体を落下防止策（安全帯の確認不足）を行っていたにもかかわらず、地上7～8mのところから落下	43	60201	1	10 ～ 29

			し、右手と胸部などを負傷した。				
2017	9	14～ 15	草刈作業中、直径10cm程度の木を伐倒した、別の職員が重機を使って、その木を移動しようとしたところ、動かした反動で木が動き、木の周辺に立っていた被災労働者の右足に直撃した。	65	160101	6	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	敷地地内において、屋根近くで間伐（ヒノキ）作業をしていた、上方に伐倒した木が滑り落ちてきて当たった。	31	60209	4	30 ～ 49
2017	9	16～ 17	樹木の剪定作業中、カシの生け垣（枝が細く安全帯がつけられない）に登って剪定中、足を滑らし約4m下の地面に落下し、足等を打ち負傷した。	63	30199	1	1～ 9
2017	9	10～ 11	山で伐採作業中に伐採した杉の木の2又の木の枝を切りはなすために2m位の高さで木の枝を切った時に、枝が落ちた振動で足がすべって体のバランスをくずして、先に落ちていた木の丸太に背中から転落したため、肋骨を骨折した。	62	60201	1	1～ 9
2017	9	11～ 12	チェーンソーにて伐採作業中、伐採したカシの木が枝の張り出しによって、裂けて手前に倒れてきて、思わず避けようと足を引いたが、間に合わず右足に少し当たり、受診したら親指、指先を骨折していた。	35	60209	6	10 ～ 29
2017	9	10～ 11	伐採する木の周りに散らばっている杉の枝を片付けていた、傾斜地であったため、枝が丁度目の高さにあったが、それに気づかず、振り返った際に、枯れた枝の先が右目に当たり、眼球を負傷する。	70	60201	3	1～ 9
2017	9	13～ 14	道路整備に伴う松くい虫の伐倒作業中、伐倒した木が倒れる際に他の木に引っかかったため、引っかかった木（直径約25センチ、重さ約100キロ）にロープを巻き付け引き倒そうとロープを引っ張ったところ、根本が切り離れた断面から滑り落ちた、その際、被災者と木の距離が近すぎたため滑り落ちた木が左足を強打し負傷したものである。	33	30199	6	1～ 9

2017	10	10～11	民有林間伐現場で胸高直径40cm位のダケカンバを伐倒している時に、直前に伐採し掛かり木になっていた胸高直径36cm位のダケカンバが、何らかの影響で被災者の方に倒れてきて、頭部を地面との間に挟まれた。	64	170101	5	10～29
2017	10	10～11	民有林間伐現場で胸高直径40cm位のダケカンバを伐倒している時に、直前に伐採し掛かり木になっていた胸高直径36cm位のダケカンバが、何らかの影響で被災者の方に倒れてきて、頭部を地面との間に挟まれた。	64	60201	5	30～49
2017	10	10～11	法面で支障木の伐採中に思わぬ箇所から木が折れて、作業員の方に覆いかぶさり被災した。被災者は伐木等業務の特別教育は受講していなかった。	43	30106	4	10～29
2017	10	8～9	森林内で伐木作業中、隣接木とツルのからんだカバの木（直径12cm）を伐採するため、通常より高い位置からチェーンソーの刃を入れたところ、伐採した木がツルにより伐倒、手の側に切り口側から向かってきて、左足に直撃した。	36	60201	6	1～9
2017	10	11～12	作業現場で広葉樹の伐木玉切の作業中に、木を倒した時に4m～5m位の風に吹かれ掛り木となり、状況を確認するために掛かった木の下に行き上を見た時、直径3cm位長さ6cm位の枯れた枝が落ちて顔に当たった。	57	60201	4	1～9
2017	10	15～16	皆伐作業中、傾いていたアカマツの枯損木（樹高約18m、胸高直径約20cm、傾き角度約45°）をチェーンソーで伐倒した際、つるがらみをしていた隣のアカマツの枯れ枝が折れ飛来し、左側頭部に当たり受傷した。	64	60201	6	1～9
2017	10	16～17	敷地内植木剪定作業中、約2.5mの高さで足を滑らせ落下、右肩・背中を強打。	69	120109	1	10～29
2017	10	10～	道路管理中、道路脇の崖にある樹木の伐採の指示をしていたとき、	76	150101	2	50～

		11	下に落ちた小枝と落ち葉に足をとられ、転倒し、両手を負傷した。					99
2017	10	9～ 10	台風21号の通過後に、他の職員と2名で通路パトロールを実施していたところ、暴風雨で折れた大きな木の枝が通路上に落下して車両通行の支障となっていた。他の職員と前後を持って路肩まで運ぼうとしたところ、前を持っていた職員の足がもつれて転倒し、右大腿部及び右手首を骨折した。	63	170209	2		30 ～ 49
2017	10	16～ 17	個人邸の樹木維持管理作業において、高さ4mのイチヨウの枝下ろしをしようとハシゴをかけて登り、枝をつかんで、乗り込もうとした時、枝が枯れていたため折れ、そのまま高さ2.5m程から転落し、左肩、左脇腹・腰を負傷する。	55	60101	1		1～ 9
2017	10	9～ 10	高等学校剪定工事の桜の剪定作業を行っていた際、脚立を木にかけ、登り、木の一番下の枝に手をかけたら、枝が枯れていた為根元から折れ、校門の門に転落し、背中から強打したもの。一部木に足をかけた1.5m程度の高さでの作業。	69	30199	1		1～ 9
2017	10	16～ 17	植栽管理（高中木剪定）の作業中に、直径約20cm程度の切断された切り株に右足を掛け、剪定していたところ、その右足が滑り、切り株に股間を打ち付け、転倒。事務所まで戻るも、陰部の痛みが酷くなった。	49	60101	3		1～ 9
2017	10	9～ 10	当事業場内で落下の危険性のある樹木を剪定していたときに、切った枝が被災者の下肢に直撃し負傷したものである。被災時の状況は安全帯及びヘルメットを装着し、固定した梯子に登り、高さ約2mのところ作業をしていた。	71	170209	4		10 ～ 29
2017	10	11～ 12	畑の栗の木（直径0.4m－高さ約10m）の伐採中、右肩に枝（直径0.1m－長さ約1.5m）がぶつかり打撲。本人は周辺作業を行っていた為、枝に気づかず落ちたものか、倒木の枝が跳ねたものかは不明。	65	60201	4		1～ 9
		11～	約30度の傾斜地で胸高径約18cm、樹高約9mの雑木を傾斜上方方向					1～

2017	10	12	にチェーンソーで切り倒したところ、根元が飛び上がって顔面に接触と同時に転倒し、付近にあった切り株に胸部等を強打し骨折した。	60	60209	6	9
2017	10	15～ 16	会社借用地にて、隣接林から同土地にずり落ちた間伐材（ヒノキ直径25cm）を1人で撤収中に、木材が斜面から予想外の方向に動き、退避するも、右足大腿部内側に当たり受傷した。	50	30199	6	10 ～ 29
2017	10	11～ 12	台風による倒木を処理するに当たり、クレーンの届かない位置に倒木があり、チルホールによる伐採工事となった。チルホール2台による伐採工事を行うが、伐採した木が地面にて粉碎した。粉碎した大きい枝が作業員の肩に当たった。チルホール2台により倒れる方向を計算するも、粉碎した部位まで推測できなかった為。	52	60101	6	1～ 9
2017	10	9～ 10	台風災害の倒木で、水路をまたいで電線に倒れた木をチェーンソーで数ヶ所切り処理する際に、思わぬ方向へ倒れ、足を挟まれる。	45	30199	5	1～ 9
2017	10	10～ 11	請負間伐事業地において、朝のミーティング後に三人は等高線の並びで谷側へ伐倒をしながら下りていた。途中播鉢状の狭い所で被災者がかかり木になってしまい処理をしていたところ近くで別の作業員がヒノキ（高さ13.6m、胸高直径15cm）を枯木と気づかず伐倒をしたら方向が90度回転してしまい、被災者の首部に直撃し被災した。	75	60201	6	10 ～ 29
2017	10	9～ 10	民間の家の庭の剪定作業で、4m程の木の上で作業中落下し、ブロック塀に右横腹を強打。	35	60101	1	1～ 9
2017	10	10～ 11	市営住宅の高木剪定中に、枯枝を踏んでしまい、枝が折れたため、高さ4～5mのところから落下した。木の傍に高さ2mくらいのフェンスがあり、落下途中にこのフェンスに当たり、歩道に落ちた。	37	30309	1	1～ 9
2017	10	11～ 12	11区付近の倒木を撤去及び処理場への運搬中、処理場までの移動距離があった。かつ、階段の上り下りもきつく、人力での運搬により身体に強い負荷がかかり腰を痛めた。	58	170209	19	10 ～ 29
		16～	2番ホール左法面にあった枯れ松を伐採し倒した後、枯れ松をカー				30

2017	10	17	ト道から撤去しようとして近づいた時に支えになっていた枝が折れて右足の上に転がってきた。	29	140301	6	～ 49
2017	10	14～ 15	山の崖上にて伐採中、落下する可能性のあるすべりやすい傾斜地で、落下防止のため持っていた杖が折れ転落した。	41	170209	1	10 ～ 29
2017	10	10～ 11	校内の剪定作業中に振り向いたとき、木の枝に右肩付近を激しく打ち付けてしまい、打撲状態になった。その時は痛みだけで2週間程度我慢していたが、その後腕が上がりなくなり、病院で診察を受けた結果、3～4週間の安静が必要と診断された。	63	120109	3	50 ～ 99
2017	10	9～ 10	一ターは合図を確認してゆっくり巻き取りを始め、その後葉材木がゆっくり引き上げられる時、地面にあった枯れ木や枯れ枝をすくいはじめたような気がしたため、被災者は危険と判断し、さらに4～5m先（葉材方向に対して右直角方向）へ退避しようとして走り出した途中で、葉材木がすくいはじめた枯れ木や枯れ枝に干渉していた他の木が、何らかのはずみで移動して左足に滑り落ちた。	63	60201	6	10 ～ 29
2017	10	9～ 10	木材市場の山林にて立木（桧）をチェーンソーで切りクサビを使い倒す作業中、他の木と同様に頭上を確認後、受け口、追い口クサビを入れ、木が倒れだしたので、離れ避難したが、隣の木の枝がかざらと絡んでいて切った桧の元がズレて右足の足首に当たり、受傷する。	62	60201	6	1～ 9
2017	10	14～ 15	急な斜面の場所で、間伐作業の伐採を行っていた。ヒノキ胸高20m（高さ13mぐらい）を伐採中、伐採した木の根元が下に滑り落ちて木を背中よりかぶり右肘、顔、右胸を負傷した。	50	60209	4	1～ 9
2017	10	14～ 15	傾斜地で作業中、自分の切った木が跳ね上がり、10m下の沢へ飛ばされ転落した。（チェーンソー）	66	60201	6	1～ 9
2017	10	8～9	除間伐事業現場において、古木）を伐倒したが、かかり木となり、手で押し倒した時前方にあった切り株に元口が当たり、跳ね上がり当たった。	57	60201	6	10 ～ 29

2017	11	14~ 15	カラ松間伐現場でグラップルが根倒したカラ松2本を根切した。1本目を切断し、2本目（直径約20cm）の切断間際にチェーンソーが木に挟まれた。チェーンソーを外すため矢を使用しチェーンソーを引き抜いたところ、木が弓なりに圧迫されていたため被災者に跳ね返って来て膝を圧迫した。	71	60201	4	10 ~ 29
2017	11	14~ 15	現場にて、平地で丸太の玉切り作業中、次の丸太を切る為に移動する時に丸太（長さ1.5m直径15cm位）の上に上がった際に丸太が動きバランスを崩し、滑って転び丸太にぶつかり左足を痛めた。（スパイク付き長靴、軍手、ヘルメット）	52	60201	2	1~ 9
2017	11	9~ 10	山林内で伐倒作業中、伐倒した木が近くの木に当たり、伐倒した木の枝が折れて、左肩に当たったと思われる。	21	60201	4	1~ 9
2017	11	11~ 12	杉の木（径18cm）を切り捨て間伐中、隣接木のかかり木処理をする際、どのようにかかっているのか視認できなかった為、かかり木をチェーンソーを持っていない左手で斜面の下側から軽く揺すって調べていたところ、不意に被災者の方向に倒れて来たかかり木を避けきれず枝（径2cm）にぶつかり、左上腕骨を骨折した。	28	60201	5	1~ 9
2017	11	11~ 12	山林で、間伐事業における伐倒作業中において、カラマツの伐倒中にかかり木を発生させたので、かかり木がかかった立木の伐倒に着手し、追口切を進めていたところ、かかり木が落下し、被災者に直撃し受災した。	79	60201	5	10 ~ 29
2017	11	9~ 10	平坦地にて、伐採作業時、伐倒した木の先につるが絡んでおり、それに引っ張られ、後ろの木が折れて、伐倒後退避しようとした時に背中に折れた木が直撃した。	24	60201	4	10 ~ 29
2017	11	10~ 11	受注品の納品のため取引先に行った時、取引先の入口の段差に躓いて、ドアに肩からぶつかり、背中を打撲した。当日は痛みを我慢して業務を終了し、翌日病院で受診した。	56	10401	4	1~ 9
			駐車場整備工事作業所内、鉄骨荷降ろしヤード内で積載トレーラー				

2017	11	9~ 10	前方の鉄骨ブレース角材（D-175×175L=3530、1本200～250kg程度）を約10本束ねて荷降ろしする際、積載トレーラーの荷台に付いている角パイプに接していた為、被災者が角材にて揺らしたところ、左端ブレースが弾いて手元に接触して負傷した。	66	140301	1	1 ～ 49
2017	11	15~ 16	山林での間伐作業において、地上から7～8mの位置で折れて他の木に寄り掛かっていた枯木（直径約20cm）にロープを掛け、チェーンソーで切断後ロープを引いて伐木を倒す際に、想定したのと違う方向に木が倒れ、被災者に激突した。被災後すぐに帰宅し、湿布薬を貼り痛みに耐えながら、三日間の午前中は軽易な作業を行ったが、三日目の午後になり、痛みが悪化したため受診した。	63	60209	6	1~ 9
2017	11	11~ 12	庭園植木剪定、伐採作業中、木に登り、木の枝を整枝中、木の枝が足の指に落ち骨折した。	66	60101	4	1~ 9
2017	11	11~ 12	杉、雑木間伐作業後の急傾斜地（約35度）周囲測量作業中、雑木の切株に躓き転倒し、右の脛と顔面を地面に打ちつけ、左眉の上を切る。右の脛も打撲する。	66	60201	2	10 ～ 29
2017	11	11~ 12	間伐事業を実施していた際、山頂付近で作業中の事故である。枝の多い立ち木をチルホールを使用し間伐を実施した際に、身体に倒れた木の枝が接触し転倒した。その際、右手を地面についた時に右手首を骨折した。	65	60201	2	1~ 9
2017	11	15~ 16	民家付近の支障木伐木時、作業員Aが高所での玉切り伐採を行っていた。玉切り伐採した木、太さ約9cm、長さ約2mの玉切りした木が落下した際、地面にバウンドし、思わぬ方向へ跳ねBの右肩に当たり被災した。	36	60201	4	10 ～ 29
2017	11	12~ 13	間伐に伴うかかり木処理を実施していたところ、バランスが崩れたかかり木が跳ね上がり、作業員の頭部を直撃した。2重にかかり木した状態になっており処理のため元玉落としを実施したが、1玉目ではかかり木が外れなかったため2玉目も切った。重心が先端寄りだったことから木のバランスが崩れて根元が跳ね上がり顎を直撃し	62	60209	6	1~ 9

			た。その勢いでかかり木は枝から外れ落下した。				
2017	11	10～ 11	駅構内の石垣の上（高さ1.7m）の木の枝の切り落とし作業中、石垣の上から切れ残った枝を引っ張っていたところ、枝が折れた反動でバランスを崩し高さ1.7mの通路に転落着地した際に、右足踵に痛みを感じたため直ちに救急手配を行い病院へ搬送された。	34	40101	1	10 ～ 29
2017	11	9～ 10	駐車場の法面で樹木伐採作業中に、切った樹木の幹が倒れてきて体の横腹辺りに当たり、その際転倒した。	56	60101	6	1～ 9
2017	11	15～ 16	個人邸樹木伐採工事に従事し、チェーンソーを使用して高さ約8mの立木を伐採中、折れていた枯枝が上部から落下し、ヘルメット着用の頭部に当たり負傷した。	36	30199	4	1～ 9
2017	11	9～ 10	風倒木の処理をしていた時に、木が跳ね右足甲に当たり裂傷した。	39	60201	6	1～ 9
2017	11	6～7	カート道右斜面において、立ち枯れの木を伐採作業中に切り倒した4m程の木が地面と接触した。その反動により折れた枝が20m以上離れた場所に避難していた被災者の左膝上に当たる。	60	140301	4	50 ～ 99
2017	11	9～ 10	センターの現場において、被災者は地拵え作業を行っていた。直径約30cmのナラの木を下向きに倒したがもたれ木になってしまい、根元を落とした時にシーソー状態になり、自分の方に倒れて来た。待避中で間に合わず、予想以上に枝が伸びていたため、誤って枝が右膝に当たり、右足を負傷する。	46	60209	6	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	みかん畑で脚立を使ってみかんを収穫していた時に、木の奥にあるみかんを取ろうとして枝で肋骨を負傷した。当日は最後まで仕事をしたが、翌日の夜から痛みを感じ始め、後日病院で受診した。	58	60101	3	1～ 9
2017	11	15～ 16	畑において、かずらの根を引き抜いていたところ、急に根が抜けたため仰向けに転倒し腰を強打した、元々腰痛持ちであり痛みを保有していた。このためすぐには受診しなかったが、段々痛みが強くなってきた。	64	130201	2	1～ 9

2017	11	13~ 14	直径5cm程の竹を伐採するため、切り口を入れ、竹をつかみ手前に折り倒そうとした際、切り口を入れた所から竹が切断して外れたため、バランスを崩し仰向けに転倒した。転倒した際に、地面から出ていた、すでに切った竹の切り株に腰があたったため、作業を中断し休んでいたが、胸が痛み出したので病院へ行った。	73	30199	2	1~ 9
2017	11	9~ 10	下水処理場にて剪定作業中、下枝を持ってジャンプして上の枝を払って着地した時、剪定ゴミで足を滑らし尻もちをついて強打し腰を痛めた。	65	60101	2	1~ 9
2017	11	14~ 15	作業道開設作業中、伐倒木の斜面下側でチェーンソーによる枝打ち作業中、伐倒木が転び右足首を圧迫して負傷した。	65	60201	6	1~ 9
2017	11	14~ 15	竹林の中で枯竹の処理作業中に、足場の悪い急斜面を枯竹を抱えて移動中に、持っていた枯竹の枝がはじかれ目に当たった。	58	10103	6	1~ 9
2017	11	10~ 11	小学校内にて木の伐採作業中、木が倒れてくる場所に被災者が誤って立ち入ってしまい、倒れてきた木を咄嗟に受け止めようとした際、右手中指・薬指を裂傷した。	61	30209	6	10 ~ 29
2017	12	10~11	列状間伐作業中に、伐倒列にある転倒木の根元から30cmのところを切断した。切断前の被災木は弓なりになっていたと推測できる。積雪が30cm程あり、見通しが悪く、先端部分の確認を怠った。体の位置を切断箇所の斜め後方にしていた為、チェーンソーで切断した際に元口が跳ね上がりフェイスガードを跳ね上げ右頬に当たり被災した。	40	60201	6	10 ~ 29
2017	12	10~11	民有林間伐事業現場において、チェーンソーを使用した間伐（列切り）作業に従事していた。積雪10cm程のなだらかな斜面でトドマツ（径約20cm、高さ約20m）を伐倒した際、伐倒した木がかかり木の状態となっていた。その後、別の列の木を伐倒していたが、かかり木が外れ、被災者の背中側に木の先端部分が当たり、肋骨多発骨折、骨盤・腰の骨折等のケガを負ったものである。	63	60201	5	10 ~ 29
			当社山林現場で伐採作業をしている際、7~8m離れた樹高12m、胸				30

2017	12	14~15	高Φ15cmのかかり木が突風により倒れて来て、作業していた被災者にあたり負傷した。	53	60201	5	~ 49
2017	12	11~12	委託先マンション敷地の高木剪定中（ロープおよび高枝バサミ使用）、足場になっていた高木の枝の分かれ目からバランスをくずして落下し、右肩および上腕を強打し打撲した。	70	60101	1	10 ~ 29
2017	12	9~10	道路脇私有地で高さ15m程ある樹木の道路側の枝落とし作業を行っていたとき、被災者は下に落ちた枝の片付けをしていたが、誤って車両脇の枝が落ちる所へ入り、5m程の高さから落ちてきた長さ2m、太さ7cm程の枝が頭部と頸部にあたり負傷した。そのときヘルメットを着用していなかった。	70	60101	4	1~ 9
2017	12	10~11	ゴルフ場コース内で樹木枝払い作業中に、薬指に棘が刺さり、確認できる範囲で除去し、そのまま作業を続けた。後日、化膿した部位から膿が出てきたため受診したところ、棘の異物が確認された。	60	140301	8	30 ~ 49
2017	12	9~10	木材搬出事業の現場において伐倒作業中、伐倒や移動に支障となる柴をチェーンソーで処理をしていたところ、切った柴が跳ねてチェーンソーに当たった。チェーンソー防護衣等の安全対策はしていたものの、当たった勢いで、防護衣が防護する範囲外の左足首内側にチェーンソーの刃があたり負傷した。	65	60201	8	50 ~ 99
2017	12	8~9	宅地整備工事の準備工として、現場内の高さ約3mにある木の枝の伐採作業中、伐採した枝が隣接地との境界を越えると思い、敷地内に落下させるためロープを投げて掛けようとしたが、上手く掛からず、やむを得ず途中まで登ろうとして枯れた枝をつかみ、枝が折れて背中から落下した。その際、落下した場所に木の切り株があり、骨盤と背骨を圧迫骨折した。	59	30109	1	1~ 9
			立木（Φ400）にΦ500程度の腐食した木が掛かった状態であった。被災者は通常の方法では伐倒が困難と判断したため、職長と手順の確認を行った。被災者は立木を伐採したあと退避場所へ退避していたが、掛木が予定した方面に行かず回転し、被災者の方向に向				30

2017	12	13~14	<p>かってきたため、再度退避しようとしたが間に合わず、腰付近を接触した。原因は、立木と掛木が一見すると共に倒れる程度に掛かっているようであったが、実際は立木に対して想定した程には荷重がかかっておらず、掛木が予期せぬ方向に転がったためである。</p>	34	30199	5	~ 49
2017	12	10~11	<p>被災者は、チェーンソーで新植地拵え作業を行っていた。コナラ（直径約20cm、樹高15m）の伐採を行うため、伐倒方向への受け口をつくり、追い口を入れていたところ、途中から幹が裂け、避けた幹が一旦頭上に上がって落ちてきたとき、左肩を直撃した。近くにいた同僚がそれに気づき、病院へ付き添い搬送し、診察の結果、左肩骨折との診断を受けた。その後、病院からの紹介状をもらい、翌日に別の病院で改めて診察した結果、左肩甲骨肩峰骨折との診断を受け、約1ヶ月の安静が必要となった。</p>	67	60209	4	50 ~ 99
2017	12	14~15	<p>圃場周辺にて、大きい木の枝を伐採後、脚立から降りて向きを変えようとした際、足元にあった木の株へ引っ掛かり、その際に右足首を捻った（全治1ヶ月）。</p>	63	60101	19	50 ~ 99
2017	12	9~10	<p>被災者は、同僚3名と台風によって発生した風倒木の処理作業に従事していた。斜め下方向へ倒れていた根返り木の処理に当たって、倒木の根元から3m付近を山手から切断していた。ところが、切断した途端、切断木の上方部が2本の存立木の間で捻れて倒れていたことから、切断部に反力が発生し、切断木が被災者側に強く振れ動き落下したため、脛部に直撃し被災した。</p>	24	60201	6	10 ~ 29
2017	12	9~10	<p>山林において、林内作業道の開設予定地内の立木（口径30cm）をチェーンソーで伐倒しているとき、立木が倒れる前に切り口が滑り、左足の上に落ちて負傷した。</p>	28	60201	4	1~ 9
2017	12	13~14	<p>鹿ネットを張るため、支障木の伐倒作業をしていた。支障木である杉を伐倒したが倒れず、ロープを木に巻きつけて引っ張って倒すことにした。しかし、樹高より近い場所からロープを直引きしたた</p>	50	60201	6	10 ~ 29

			め、引っ張って倒した木が右肩を直撃した。				
2017	12	8~9	山林の地拵え中、下刈機の回転刃が木片を撥ね、それが目に当たり負傷した。	50	60209	4	1~9
2017	12	6~7	コース4番ホールグリーン周りで剪定作業中、脚立に乗って作業していたとき、先端に少し手が届かなかったため、片方の足を脚立からはずして枝にかけたところ、枝が折れ、そのはずみで脚立も倒れたため、地上2m付近より落下し、腰および背中を強打した。	52	140301	1	50~99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html